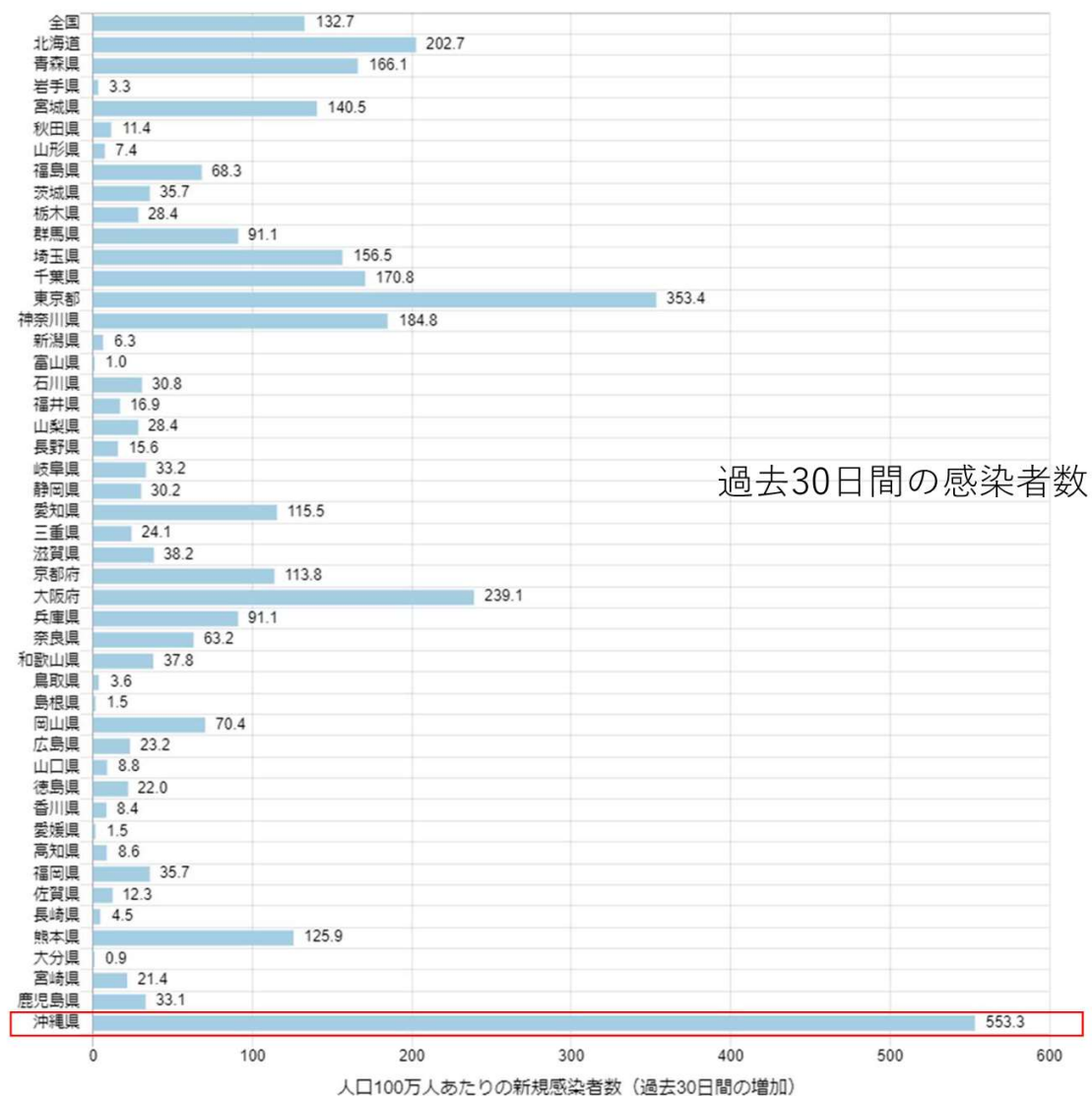


昨日の補足・・・沖縄は大丈夫なのか！？ 11月5日

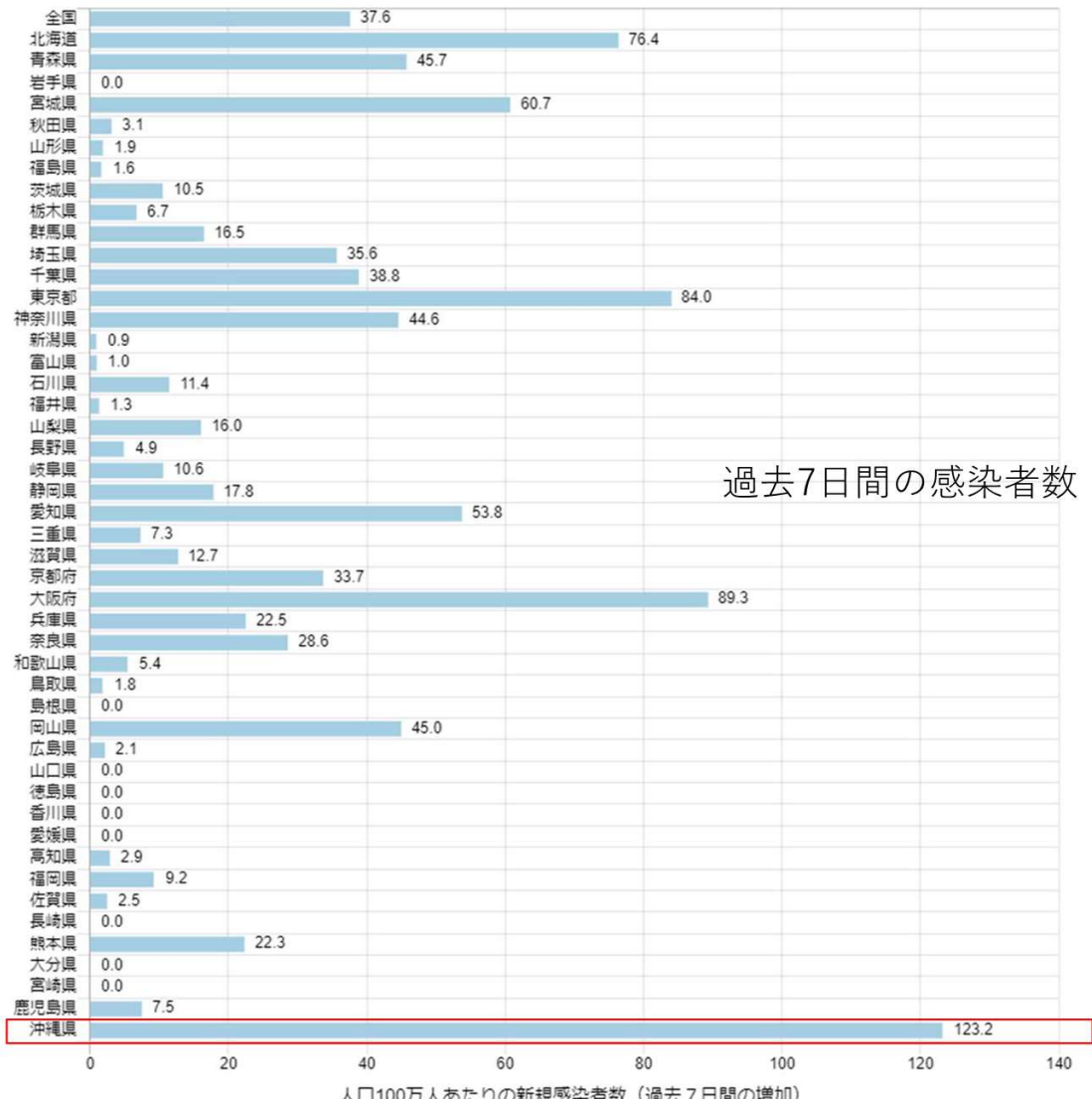
昨日都道府県別の新型コロナウイルス感染者数をご紹介したときに、人口100万人あたりの感染者についてみれば沖縄県が最多となったというデータを示しました。その後気になったのでもう少し最近について調べてみました。過去30日と過去7日のデータを示します。今日も札幌医科大学のサイトからの引用です。



札幌医科大学のサイトから引用

<https://web.sapmed.ac.jp/canmol/coronavirus/japan.html?s=y#date>

この図は、都道府県別の過去30日間の人口100万人あたりの感染者数です。沖縄の感染者数が東京や大阪をはるかに凌駕しています。



札幌医科大学のサイトから引用

さらに沖縄の感染の突出ぶりは、過去 7 日間でも同様です。沖縄県は人口がそれほど多くありませんので、感染者の絶対数ではあまり注目されていないのかもしれませんが、医療施設は従事者数などを考えると大変に事態になりつつあるのではないかと懸念されます。

沖縄の感染に関して、もう一つ調べたことがあります。それは感染の要因として人口と人口密度、および旅行者数があげられるのではないかという仮説に関するデータです。昨日、人口 100 万人あたりの感染者数の上位は大都市圏と人気の旅行先ではないかと書きました。大都市圏というのは人口も人口密度も高いことを示します。

## 2020年4月1日現在の各都道府県の人口と人口密度

#	都道府県	人口密度	#	都道府県	人口
1	東京都	6,354.79	1	東京都	13,942,856
2	大阪府	4,631.03	2	神奈川県	9,200,166
3	神奈川県	3,807.54	3	大阪府	8,823,453
4	埼玉県	1,932.02	4	愛知県	7,552,873
5	愛知県	1,460.04	5	埼玉県	7,337,330
6	千葉県	1,217.43	6	千葉県	6,279,026
7	福岡県	1,024.79	7	兵庫県	5,463,609
8	兵庫県	650.36	8	北海道	5,248,552
9	沖縄県	637.52	9	福岡県	5,110,113
10	京都府	560.07	10	静岡県	3,639,226
11	香川県	509.42	11	茨城県	2,868,041
12	茨城県	470.37	12	広島県	2,807,987
13	静岡県	467.93	13	京都府	2,583,140

都道府県市町村ランキングデータ [https://uub.jp/rnk/p\\_j.html](https://uub.jp/rnk/p_j.html)

都道府県別の延べ宿泊者数（2019年）

単位：人泊

順位	都道府県	延べ宿泊者数	順位	都道府県	延べ宿泊者数
1	東京都	78,981,720	25	岐阜県	7,304,310
2	大阪府	47,427,510	26	長崎県	7,248,850
3	北海道	36,983,420	27	茨城県	6,299,850
4	沖縄県	32,865,670	28	岩手県	6,276,670
5	京都府	30,749,560	29	岡山県	5,660,680
6	千葉県	29,229,120	30	山形県	5,571,860
7	神奈川県	23,883,890	31	埼玉県	5,436,560
8	静岡県	23,429,440	32	和歌山県	5,324,320
9	福岡県	20,420,380	33	滋賀県	5,016,150
10	愛知県	19,337,740	34	香川県	4,659,250
11	長野県	18,052,570	35	青森県	4,605,770
12	兵庫県	14,417,170	36	愛媛県	4,385,520
13	福島県	12,657,410	37	宮崎県	4,320,060
14	広島県	11,630,710	38	福井県	4,144,090
15	宮城県	10,934,100	39	富山県	3,807,890
16	新潟県	10,930,410	40	山口県	3,761,960
17	栃木県	9,559,870	41	秋田県	3,653,930
18	石川県	9,200,650	42	島根県	3,641,650
19	山梨県	9,072,350	43	高知県	2,903,110
20	群馬県	8,648,440	44	鳥取県	2,887,920
21	三重県	8,599,890	45	佐賀県	2,801,730
22	鹿児島県	8,366,340	46	奈良県	2,726,320
23	大分県	7,902,700	47	徳島県	2,568,550
24	熊本県	7,633,470	合計		595,921,480

注：宿泊目的割合不詳、宿泊施設タイプ不詳及び簡易宿所を含む

資料：観光庁『宿泊旅行統計調査』<<http://www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html>>（2020年7月30日アクセス）

新潟経済商工リサーチ研究所 <https://blog.rcn.or.jp/guests-number-2019/>

昨日挙げた人口 100 万人あたりの感染者数が全国平均より多い 8 つの都府県（沖縄、東京、大阪、福岡、神奈川、愛知、千葉、埼玉は、人口密度の高いベスト 10 にすべて入っています。また人口の多い都府県と人口密度の多い都府県の上位はほとんど重複しています。一方で沖縄の人口はさほど多くありませんし、また最近増加が懸念されている北海道の人口密度は全国最低です。しかし、沖縄と北海道には感染リスクを増大させる旅行者という要因があります。

このデータのもともとは観光庁の統計です。2019年のデータしかありませんが、全国の宿泊者ランキングでは、北海道が3位、沖縄が4位になっています。宿泊者は基本的に遠方からの来訪者でしょうから、大都市圏からの来訪者も多いと考えてよいと思います。

大都市圏と人気の旅行先、言い換えると人口と人口密度そして宿泊者数がリスク要因であるのだと思われます。沖縄の感染動向については、すでに注目するだけでなく医療支援の必要性を主張すべき時かもしれません。大いに懸念されます。